



子どもたちのこと、学校・学級のこと、毎日の授業や学校行事……等々一つ解決すれば、また別の問題が発生。まるで“モグラ叩き”のように悩みは生まれます。そんなときは、おまじないのように、河合隼雄先生のこの文をどうぞ。

悩みは、もつれた糸をほどくように、ふわーふわーつと

悩んでいるときは、まわりが全部ままならない、八方ふさがりにみえます。

姑とのことを解決しようと思うと、夫との関係が、がたがたとなる。夫とちゃんとやろうと思ったら、姑とがたがた。子どもがからみ、実家がからみ、親子、兄弟、友人、仕事——こんがらがってもつれた糸みたいなものです。

実際に、もつれた糸を扱うのと同じでね。もつれた糸をほどこうとすると、いらついて、その中から一本の糸だけ、ぴゅーつと引っぱりだそうとする人、いるでしょう？

それをやると、ますますもつれて、糸全部が使いものにならない場合が多い。

いくらもつれてても、糸は——つまり人間関係は——全部ていねいに使わないと、もつたないでしょう。

もつれた糸をほどくには、ふわつとかかえこんで、ふわーふわー(笑)。あっち引っぱり、こっちほくするのがいいものです。

以前、相談に来られた方にそんな話しまして、あとで言われたことがあります。「あのとき、こっちは生きるか死ぬかなのに、もつれた糸をふわーふわーつとは何事か！と思いました」と言っておられましたが。

不思議なことに、ふわーふわーつとやっていると、ほどける時にはパラパラつと一気にほどけるんですね。ほんと不思議だけど。

河合隼雄著『こころの天気図』より